



ひとよし市議会だより

2017/ 第 93 号 / 平成 29 年 8 月 15 日 発行：熊本県人吉市議会 / 議会報編集委員会



残暑お見舞い申し上げます
— 市政発展のために頑張ります —

CONTENTS

主な 内容

- P 2 ……………定例会報告
- P 2～4 ……………各委員会報告
- P 5～7 ……………一般質問
- P 8 ……………議案等の議決結果
- P 9 ……………平成 28 年度政務活動費収支報告書、編集後記
- P 10 ……………市民と議会の意見交換会

市のホームページでもご覧になれます。

URL <http://www.city.hitoyoshi.lg.jp> / E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

厚生委員会報告

●委員長 高瀬 堅一 ●副委員長 永山 芳宏
●委員 塩見 寿子・井上 光浩・三倉 美千子・田中 哲

補正予算の専決処分を承認

平成 28 年度人吉市一般会計補正予算は、民生費の増額で、平成 27 年度の児童扶養手当給付費国庫負担金の確定に伴う精算金となっています。衛生費の増額は、平成 27 年度の感染症予防事業費等国庫負担金の確定に伴う精算金となっています。

条例改正の専決処分を承認

「人吉市税条例の一部を改正する条例」は、個人所得課税改革による配偶者控除・配偶者特別控除の見直し、自動車税及び軽自動車税におけるグリーン化特例の見直し、固定資産税等においては地域の中小企業による設備投資の支援・居住用超高層建築物に係る課税の見直し・固定資産税等の特例措置の創設などによる改正です。「人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例」は、固定資産税に係る改正と合わせて改正したものです。いずれも地方税法及び航空機燃料譲与税法の一部改正に伴うものです。「人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」は、国民健康保険税の軽減判定所得の変更により改正するものです。

条例改正を承認

「人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」は、上位法となる国の法律改正に伴い、支給認定証の任意交付化を定めるものです。「人吉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例」は、国庫補助対象事業が終了となり個人番号を使用しないことになったため、当該事業の削除を行うものです。

平成 29 年度一般会計補正予算を承認

民生費 81 万 6 千円と衛生費 140 万 5 千円の増額は、いずれも事務補助員と非常勤職員の雇用に係る経費となっています。

市庁舎建設に伴う公共下水道事業費の承認

一般会計からの委託を受けて実施される市庁舎建設に伴う「小永野第一雨水幹線付け替え工事」に係る補正で、用地測量・実施設計業務委託料の 900 万円、公共下水道事業計画認可変更業務委託料の 500 万円等の補正となっています。

経済建設委員会報告

●委員長 笹山 欣悟 ●副委員長 豊永 貞夫
●委員 宮原 将志・福屋 法晴・村上 恵一・仲村 勝治

曙橋補修工事請負契約 2 億 4,300 万円で締結

人吉市橋梁長寿命化修繕計画に基づき、曙橋における損傷・劣化に対する補修工事における工事請負契約の締結で、指名競争入札により契約金額を 2 億 4,300 万円、契約の相手方をライト・味岡建設工事共同企業体とするものです。

工期が平成 30 年 9 月 28 日までと長く、工事期間中は片側交互通行を行うため、担当課からは「議決された場合は、警察と協議に入り、あとは地元をはじめとした皆様にどう周知するか検討に入る。」との説明がありました。

損害の賠償を承認

人吉城跡公園内において樹木の枯れ枝が落下し女児が負傷した事故に関し、相手の方と損害賠償の額を決定し和解するものです。

委員会において、「枯れ枝等の見落としがないよう委託管理会社との協議をしっかりと行うように。」との意見がありました。

一般会計補正予算 経済部関係に 789 万 9 千円、建設部関係に 995 万 4 千円を計上

経済部関係においては、農業振興地域整備計画策定業務委託料、人吉市グリーンツーリズム推進協議会補助金、人吉市受精卵移植推進協議会補助金、農道整備工事費、石野公園警備委託に係る電話料の見直しなどです。

石野公園の電話料は、急に変動があったもので、担

当課から資料により説明がありましたが、説明不足のため暫時休憩し、改めて説明を受け承認しました。

また、建設部関係においては、民間住宅耐震改修促進事業における補助メニューの追加、社会資本整備総合交付金事業下林北願成寺線改築工事及び電柱移設の補償費、用地購入費、人吉球磨広域行政組合からの受託事業の事業費確定に伴う精算金、平成 30 年度に実施予定の一本杉団地の給水設備改修工事の設計委託料、笹栗山団地 1 号棟及び一二三ヶ迫団地 1・2・3 号棟の外壁改修工事の調査設計委託料です。

委員会において、市道の用地購入費に関し、抵当権が設定されている土地の購入について、担当課から「抵当権付きではあっても、古い抵当権で一定の要件に該当すれば購入は可能である。」との説明がありました。



東間地区農道改修工事

6 月定例会報告

一般会計補正予算 8,631 万 9 千円増額を可決 (補正後の総額は 166 億 6,909 万 3 千円)

平成 29 年 6 月定例会は、6 月 5 日から 6 月 27 日までの 23 日間の日程で開催しました。

平成 29 年度一般会計の補正予算は、歳入では国県支出金及び繰越金の増加、歳出では緊急性を勘案して、補助事業及び単独事業が追加され、継続費では市庁舎建設事業で総額 51 億 4,430 万円が追加補正されています。

《一般会計補正予算の歳出の主なもの》

農業振興地域整備計画策定業務委託料	405 万円
公営住宅建設事業	628 万 7 千円
市庁舎機能災害復旧事業 (防災行政無線等移設事業)	4,114 万円

《特別会計補正予算》

公共下水道事業特別会計	資本的収入	1,460 万円	増額し、総額	1 億 4,780 万 3 千円
	支出	1,420 万円	増額し、総額	5 億 9,318 万円

《人事案件》

○教育委員会委員に次の方を任命同意しました。

尾方 篤氏

○農業委員会委員に次の方々を任命同意しました。

大石 正廣氏・福屋智香子氏・迫田 幸乃氏
林 圭一氏・島津 良邦氏・上野 博司氏
中村 隆司氏・大柿 章治氏・永田 正輝氏
中嶽 修平氏

全国市議会議長会表彰

市議会議員として 10 年、市政の振興に努めた功績が認められ、次の 3 名の議員が全国市議会議長会表彰を受けられました。なお、6 月定例会で伝達式を行いました。

福屋 法晴 議員 西 信八郎 議員
井上 光浩 議員

7 月 25 日に臨時会を開催しました

教育委員会において不適正な事務処理が発生したため、監督者としての責任を果たすことを目的として、市長及び教育長の給料月額を 10% (平成 29 年 8 月支給分) 減額する条例改正案が上程され、原案可決されました。

総務文教委員会報告

●委員長 大塚 則男 ●副委員長 宮崎 保
●委員 平田 清吉・犬童 利夫・西 信八郎・本村 令斗

人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部改正を承認

消防団員が消火活動などの公務中に死亡、負傷、障害の状態になった場合に、損害を補償するため基礎となる補償基礎額における扶養親族の加算額を改定するものなどです。

人吉市体育施設条例の一部改正を承認

川上哲治記念球場の審判員控室や放送室などにおける冷暖房設備の利用に係る料金 (エアコン使用料・1 時間につき 320 円) を定めるものなどです。

一般会計補正予算 (第 1 号) を承認

○予算の主なもの

・用地測量等委託料 162 万円

新市庁舎建設における小永野第 1 雨水幹線水路の水路付け替えに伴い、西間別館敷地内を通っている別の水路の付け替えのための用地測量等委託料です。

・公共施設公用施設災害復旧費 4,195 万 9 千円

平成 28 年熊本地震による庁舎機能移転に伴い旧本

庁舎に残っていた防災行政無線 (親局) を西間別館へ移設するための経費などです。

・人吉市ふるさと納税返礼品カタログ製作委託料

206 万 9 千円

ふるさと納税返礼品カタログ製作などに要する委託料です。

○継続費補正の追加

市庁舎建設事業 (建設工事管理業務委託・本体工事・付帯工事・水路付け替え・西間別館改修等) の補正です。

平成 29 年度から平成 32 年度までの 4 年間、総額 51 億 4,030 万円をそれぞれ年割額で定め全体的な事業費を確実に把握し本体工事をはじめ、外構工事などの環境整備が複数年の工期となることから継続費を設定するものです。

※継続費とは 数会計年度にわたる継続的支出について、その経費の総額及び年割額を定め、数年度にわたって支出することができる経費。



6月定例会の一般質問は、6月13日から15日までの3日間で行われました。11人の議員が登壇し、さまざまな視点から、幅広く活発な議論が行われました。その要旨を各議員が報告します。掲載は質問順としています。

一般質問

市庁舎建設に関する特別委員会

- 委員長 永山 芳宏 ●副委員長 高瀬 堅一
- 委員 塩見 寿子・犬童 利夫・西 信八郎・笹山 欣悟・村上 恵一・三倉 美千子・仲村 勝治

新庁舎建設に係る継続費に 51 億 4,030 万円

庁舎建設事業に係る継続費の設定について、市から次のような説明がありました。

本体工事を含む総事業費の積み上げは、一部未定分と合わせ約 64 億円で、本体事業費は 45 億 2,800 万円になる。3 月定例市議会における特別委員会時の 42 億円（うち本体工事 35 億円）と比較すると 3 割から 5 割の大幅な増となった。その要因は「免震構造の採用」「資材費・労務単価の高騰」「消費税 10%」などが大きな要因である。

6 月定例市議会において、平成 29 年度から平成 32 年度の 5 年間で設定期間とした継続費を上程する。継続費設定に関する基本的な考え方は、平成 28 年度・平成 29 年度完了予定分を除くものを継続費として積み上げ、総事業費を 51 億 4,030 万円とする。

一部未試算の工事等もあることから、総事業費は増加になる。継続費の変更は補正予算時に随時行う

ものとし、継続費に計上された工事費は通次繰越で対応するため、仮に、当該年度において完了しない場合でも、明許繰越の予算手続きは不要となる。

将来の元利償還については、平成 35 年度から平成 40 年度までが起債償還のピークであり、交付税算入を除く純粋な一般財源の持ち出しは約 7 億 5,200 万円であり、この償還財源として庁舎建設基金約 6 億 8,000 万円を充てることできる。

新庁舎の主構造は鉄筋コンクリート造（RC 造）を採用

主構造の選定について、市から、鉄骨造、鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造、在来木造、特殊木造の 5 つの工法を比較し、防災面、コスト面など様々な点から総合的に判断した結果、鉄筋コンクリート造を採用したいとの説明がありました。慎重審査の結果、全員異議なく承認決定しました。また、内装材等の付属工作物には、人吉の木材を活用した木造を検討するとのことでした。

株式会社くま川下りの経営について



大塚 則男

問 経営状態が厳しい株式会社くま川下りに対して、筆頭株主である人吉市は、今後どのようなかわり方を考えているのか。

答 7 年連続の損失計上となっており、市としても非常に心配している。会社再生へ向け、新たな目標を設定し、経営基盤の安定化を図っていくとのことから、市としても教育旅行の回復、インバウンド観光客の誘致や受け入れ態勢の整備などを行い、連携を図っていく。

問 社長の辞意表明に対して留任の意思表示はされなかったのか。

答 社長の意向を尊重し、次期社長選任を進めることに決定した。後任が決定するまでの間は、経営安定のために引き続き留任していただくことになった。

治水・防災に関する特別委員会

- 委員長 福屋 法晴 ●副委員長 宮崎 保
- 委員 宮原 将志・大塚 則男・平田 清吉・井上 光浩・豊永 貞夫・本村 令斗・田中 哲

第 10 回治水・防災に関する特別委員会を、平成 29 年 6 月 6 日に開催いたしました。今回は、御溝川二次放水路の今後の計画について協議を行いました。審査にあたり熊本県南広域本部球磨地域振興局土木部長や市の執行部等の参加のもと、現地視察を行いました。その後、帰庁し、御溝川二次放水路計画について、「①現状と課題及び経緯について」、「②二次放水路計画の概要について」、「③今後の予定について」の 3 点について球磨地域振興局より詳しく説明をいただきました。

まず「現状と課題及び経緯について」ですが、現状として、農免道路より上流は農地、下流は住宅地であり、また、中心市街地を貫いて流れ、2 つの支流が合流している。現実に住宅地での浸水被害が頻繁に発生しているという状況であり、平成 3 年に一次放水路が整備されています。課題としては、流下能力が不足している状況で、住宅地が張り付き、大

幅な河道拡幅ができないため、いまだ浸水被害が頻発している状況等があることです。2 点目の「二次放水路の計画の概要について」ですが、御溝川と山江川が合流する地点で、洪水時に二次放水路へ分水し万江川へ放水する計画です。総延長は約 1,300 m で普段は水を流さない計画であり護岸の高さが 3.8 m、幅が上幅で 7.4 m 底幅で 3.6 m、また管理道路として、右岸に 3 m、左岸に 1 m を確保されることでした。今後の予定として、平成 28 年 3 月で用地測量が完了しており、今後は用地交渉や工事に着手する前に工事説明会を開催していきたいとのことでした。護岸構造は、早く水を流すためにも管理がしやすいコンクリートでの三方張で行い、万江川への放水方法として、水門による管理を行う計画であるとのことでした。次回審議事項については、委員からの意見をもとに協議を行い決定することにしました。

災害対策支部運営、再任用制度について



平田 清吉

問 災害対策支部の運営に、自主防災組織を加えてはどうか。

答 災害対策支部運営中の事故やけが等の補償問題や、支部組織内における自主防災組織の位置づけなど検討課題が多いので、今後も職員のみでやっていく。

問 再任用職員と市職員の、近年の人数と人件費は。

答 再任用制度については、平成 13 年 12 月に人吉市職員の再任用に関する条例を制定し、平成 14 年度から始めてきた。平成 25 年度職員数 336 名、再任用職員数 11 名、職員給 15 億 6,743 万円。平成 27 年度職員数 334 名、再任用職員数 16 名、職員給 16 億 6,955 万円であった。

※その他、市税、公債費の現状、県民体育祭の準備状況を質問。

破堤しにくい堤防の建設を



本村 令斗

問 茨城県の鬼怒川で起きた洪水の教訓から、水が越えても破堤しにくい堤防の建設は重要。球磨川治水対策協議会で検討に追加されることになったコンクリート、鋼矢板による構造の堤防の建設を国に求めるべきでは。

答 極限まで治水安全度を高めるべく議論していきたい。

問 鬼木川に堆積した土砂と植物の除去を、県に要望してほしい。

答 毎年お願いしているが、引き続き強く要望していきたい。

問 部落解放同盟主催の研究集会が、予定されている。特別対策は、2002 年 3 月をもって終結している。参加の強制はすべきではないと思うがどうか。



市庁舎建設に係る 継続費について



笹山 欣悟

問 今議会に約51億円の継続費設定の補正予算が計上されている。しっかりとした財政計画を立て、市政運営を慎重にしないと影響を与えると思うがどう考えるか。

答 交付税措置がある有利な起債を充てることができるが、50億円以上もの起債を抱えるので、これからの市政運営に影響がないとはゆめゆめ思っていない。50年に一度のビッグプロジェクトに相對していくからこそ、今後しっかりとした財政計画を立てていかなければならない。特に財政面で、次の世代に負担を残さないという私の思いが、翻って関係者の皆様のお力添えによって、次の世代、次の次の世代の財産となるような新市庁舎の実現に全力を注いでいきたい。

都市下水道暗渠の 安全確保は



仲村 勝治

問 災害対策川北支部の範囲は人口密集地であり、都市下水道の水路がある。供用開始から40年経過している。暗渠等の安全対策、危険箇所の調査は。

答 安全対策としては、ガードレール、立ち入り防護柵等により人が容易に入ることができない構造にしている。暗渠部分は修繕が必要な異常が発生したことはない。平成27年の下水道法の改正に基づき、施設の設置及び維持に関する目標の設定や、点検箇所を明確にするなどの作業を行うこととなっている。都市下水道についても、老朽化に対応した点検等を計画的に進め、必要な改修を行っていく。*市道下新町北泉田線の歩行者の安全確保についても質した。

観光関係について



宮崎 保

問 人吉駅に発着する観光列車を、どのように結び付け売り込むか。

答 SL人吉、いさぶろう・しんぺい、かわせみやませみ、田園シンフォニーの4本が運行しており、全国的にも大変珍しい。活用策として、今までSL人吉に特化したパンフレットを、かわせみやませみ運行開始後に刷新し、4本の観光ルートなどを紹介した「鉄道楽」を制作した。今後は、SNSや観光客による口コミなどで観光列車のまち人吉を情報発信していきたい。また、人吉が通過都市となっている観光客もいるので、人吉駅からスタートする観光周遊コースを提案し、観光列車プラス人吉のまち周遊を売り込み、観光客増加へつなげていきたい。

水道料金の引き上げ について



塩見 寿子

問 水道料金の10%引き上げによって、料金はどう変わるのか。

答 使用水量が20m³の標準世帯で、現行2,386円の水道料金が2,635円になる。下水道使用料と合わせると、6,166円が6,415円になる。

問 値上げは今回だけでなく5年後にも8%、10年後にも8%上がる。企業債を増額し値上げを避けることはできなかったのか。

答 企業債の未償還残高は11億846万円。毎年4千万円を借りながら、約8千万円を返している状況。企業債の発行を増やすことは考えていない。

問 審議会には企業債を増額したシミュレーションは示したか。
答 示していない。毎年の企業債額は4千万円と固定している。

市内での外国人観光客 の状況について



豊永 貞夫

問 最近増加している外国人観光客で、本市の宿泊者の状況と分析、八代港に入港しているクルーズ船の影響などどうか。

答 本市の外国人宿泊数は年々増加で、28年は7,600人の見込み。クルーズ船からの観光客は観光地見学が主で宿泊はない。

問 クルーズ船入港から出航までの滞在時間が約10時間と長い。球磨川下りやラフティングなど体験型観光につなげられないか。

答 関係機関、団体等と連携を図りながら積極的にPRを行う。

問 人吉城跡周辺へのお土産販売店の誘致はできないか。

答 史跡区域外に市有地はないので難しいが、旧庁舎跡地利用とあわせて基本整備計画の中で、関係機関と協議し検討していく。

空き家対策について



西 信八郎

問 使用可能な空き家の利活用についての基本的な考えは。

答 空き家は年々増加しており、人口減少、高齢化等に伴い、今後も引き続き増加していくものと予想され、地域の生活環境に深刻な影響を及ぼすことが懸念される。使用可能な空き家の利活用については、空き家バンクの創設・運用を基軸に考え、空き家対策を計画的かつ総合的に講じるために、空き家等の実態調査及びデータベース化を図り、空き家バンク登録等につなげていく。また、ホームページや各種紙媒体等を利用した移住・定住の促進に向けた情報発信に取り組みることにより、市民と都市住民の交流拡大や移住・定住促進による地域の活性化を図る。

鹿目の滝周辺の整備 について



村上 恵一

問 滝へ降りる階段の入り口手前付近の杉林を伐採できないか。道路上からも滝が見えるようになるし、カエデやモミジ、あるいは桜を植樹することによって、さらに景勝地として魅力アップにつながるのではないか。

答 滝周辺は保安林に指定されているが、景観整備なども含めて、伐採ができるかどうか検討していきたい。

問 地域内の他の観光資源である紅取山などとの連携も可能になるのではないか。

答 美しい里山の光景をつくりだすことは、大変魅力アップにつながるものと思う。また、周辺観光地との連携も考えられると魅力ある観光ルートになり得る。今後考えていきたい。

松岡市政の残任期間の 構想は？



宮原 将志

問 市長に就任し2年間で経過したが、松岡カラーが出ておらず物足りなさを感じている。残任期間の構想や取り組みは。

答 市民が20年後、30年後のまちのビジョンを語るができるようなまちづくりを目指したい。また、取り組みたいことは数多くあるが、「人吉発の全国区企業を育てること」、「オール人吉球磨で海外に通用する質の高い観光地にすること」、「健康寿命日本一の実現」の3つをぜひ実現したい。

問 市民に今後の構想や市長の思いをどのように伝えていくのか。

答 今年は多くの市民が集い将来の人吉を考え、語り合う場を設け、政策立案についても政策研究所のようなものもつくりたい。



平成 28 年度政務活動費収支報告書

政務活動費とは・・・議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として地方自治法で交付が認められているものです。

氏名	収入	支出											合計
		調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費		
塩見 寿子	240,000	68,434	122,639	21,436	0	0	0	14,310	0	150,000	376,819		
宮原 将志	240,000	164,863	52,377	77,440	0	0	0	4,903	0	0	299,583		
高瀬 堅一	240,000	101,986	0	1,840	0	0	0	19,440	0	0	123,266		
大塚 則男	240,000	101,985	72,340	1,840	0	0	0	0	0	0	176,165		
宮崎 保	240,000	68,434	23,510	120,755	0	0	0	22,800	0	0	235,499		
平田 清吉	240,000	107,464	185,263	1,840	0	0	0	10,800	0	0	305,367		
犬童 利夫	240,000	101,985	133,890	1,840	0	0	0	0	0	0	237,715		
井上 光浩	240,000	101,985	0	1,840	0	0	0	0	0	0	103,825		
豊永 貞夫	240,000	68,433	121,835	6,630	0	0	3,872	11,210	0	0	211,980		
西 信一郎	240,000	77,027	70,525	1,840	0	0	0	123,236	0	0	272,628		
本村 令斗	240,000	68,433	24,240	21,436	0	0	0	27,359	0	150,000	291,468		
笹山 欣悟	240,000	68,433	182,189	1,840	0	0	0	4,100	0	0	256,562		
福屋 法晴	240,000	77,025	193,524	1,840	0	0	0	12,960	0	0	285,349		
村上 恵一	240,000	101,985	51,150	9,690	0	0	0	0	0	40,000	202,825		
永山 芳宏	240,000	105,464	0	1,840	0	0	0	0	0	0	107,304		
三倉美千子	240,000	0	0	1,840	0	0	0	2,592	0	0	4,432		
仲村 勝治	240,000	0	246,766	1,840	0	0	0	0	0	0	248,606		
田中 哲	240,000	77,026	191,324	1,840	0	0	0	0	0	0	270,190		
合計	4,320,000	1,460,962	1,671,572	279,467	0	0	0	3,872	253,710	0	340,000	4,009,583	

注) ・政務活動費の交付額は月額 2 万円。
 ・収支報告書には金額の多寡を問わず領収書の写しを添えて提出することとなっています。
 ・支出額が収入額を上回っても交付額の増額はありません。支出額が収入額を下回った場合は残余を全額返還しなければなりません。

編集後記

地震、豪雨、台風等により、全国各地で未曾有の災害が発生しています。本市も、日頃から危機感を持って、十分な災害対策が必要だと思っています。

このような折、新市庁舎建設基本計画が発表されました。新市庁舎は災害拠点施設としての目的もあり、今後、この点にも十分配慮されることでしょう。また、健全な財政出資を堅持し、堅牢で高度な機能性を有し、市民に親しまれるものでなければなりません。市議会といたしましても、早期完成に向け一層の努力をしたいと思います。

本来行政の役割は、各種問題の解消に加え、市民の暮らしの向上、福祉・教育等の充実、農業・商業、観光等の発展のための推進にあります。一日の停滞も許されるものではありません。一層の奮起が期待されています。

市議会は、誠心誠意、市民の皆様のため頑張りますので、今後とも叱咤、激励御協力を切にお願い申し上げます。

(文責：高瀬 堅一)

平成 29 年 6 月定例会の議案等の議決結果

番号	件名	議決結果
議 第 34 号	専決処分の承認を求めることについて (平成 28 年度 人吉市一般会計補正予算 (第 11 号))	原案承認
議 第 35 号	専決処分の承認を求めることについて (人吉市税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議 第 36 号	専決処分の承認を求めることについて (人吉市都市計画税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議 第 37 号	専決処分の承認を求めることについて (人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	原案承認
議 第 38 号	平成 29 年度 人吉市一般会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
議 第 39 号	平成 29 年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
議 第 40 号	平成 29 年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算 (第 1 号)	原案可決
議 第 41 号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 42 号	人吉市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 43 号	人吉市公民館条例及び人吉市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 44 号	人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 45 号	人吉市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議 第 46 号	工事請負契約の締結について	原案可決
議 第 47 号	損害の賠償について	原案可決
議 第 49 号		
議 第 50 号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	選任同意
議 第 51 号		
議 第 60 号	農業委員会委員の任命につき同意を求めることについて	選任同意

議員別表決

「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。(○は賛成、●は反対)

議案番号	議員氏名	塩見 寿子	宮原 将志	高瀬 堅一	大塚 則男	宮崎 保	平田 清吉	犬童 利夫	井上 光浩	豊永 貞夫	西 信一郎	本村 令斗	笹山 欣悟	福屋 法晴	村上 恵一	永山 芳宏	三倉美千子	仲村 勝治	田中 哲	
議 第 38 号	平成 29 年度人吉市一般会計補正予算 (第 1 号)	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	議長職のため表決には参加しない

平成 29 年 7 月臨時会の議案等の議決結果

番号	件名	議決結果
議 第 61 号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

南九州中部市議会議長会 議員研修会が開催されました

南九州中部市議会議長会は小林市、えびの市、伊佐市、人吉市の 4 市議会議長で構成され、毎年全議員を対象とした研修会を行っています。今年は 7 月 7 日に伊佐市で開催され、「小さな町がつくる早期療育システム～伊佐市の子育て支援と療育」と題し講演が行われました。

講演後には 5 件の決議を採択しました。今回は、平成 28 年に発災しました熊本地震に伴い本市提案の「行政庁舎等の防災機能充実強化に向けた地方債制度のさらなる充実を求める決議」が盛り込まれました。

なお、採択した決議は、8 月 17 日、18 日に南九州中部市議会議長会で、関係省庁や地元選出国会議員へ要望活動を行う予定です。

画家 段村一美様から絵画を寄贈していただきました

去る 7 月 18 日に、画家の段村一美様から絵画 2 点の寄贈を受けました。

寄贈していただきました絵画は「上高地」と「人吉ノ朝」で、カルチャーパレス仮本庁舎 2 階の議長室に掲示しています。



議員と一緒に自由に 話し合ってみませんか？

人吉市議会では、さらに「開かれた議会」「市民に親しまれる身近な議会」となるように取り組みを進めています。今回、人吉市議会「市民と議会の意見交換会」実施要綱を定め、各種団体との意見交換会を始めました。市民の方がメンバーとなっている団体（町内会、教育・文化関係、福祉関係、商工関係の団体など）ならどなたでも大歓迎です。ぜひお申し込みください。

1 内容

意見交換のテーマを決めて申し込んでください。

2 開催時間及び人数

開催時間は2時間程度、参加人数は10人程度でお願いします。

3 開催場所

開催場所は、申し込まれる団体で確保してください。

4 参加する議員

原則として、参加する議員はテーマに関連する委員会に所属する議員です。（総務文教委員会、厚生委員会、経済建設委員会の3つがあり、それぞれ6人で構成されています。）

5 申し込み方法

申し込み用紙に必要事項を記入の上、開催希望日の1か月前までに議会事務局へご提出ください。なお、ファックス、メールでも受け付けます。（申し込み用紙はホームページからダウンロードまたは議会事務局に用意しています。）

人吉市議会 意見交換会

検索

6 実施時期

議会の会期中を除いて、随時開催します。

7 その他

実施時期、テーマによっては相談させていただく場合があります。
幅広く意見交換を行うため、同一の団体からの申し込みは半年に1回とさせていただきます。
意見交換会の結果は、個人が特定されないような形で公表します。

問い合わせ先 / 人吉市議会事務局

TEL 0966-22-5381 FAX 0966-23-2000

Eメール : gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp



次の定例会は
9月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長 / 田中 哲 副委員長 / 仲村 勝治
委員 / 高瀬 堅一・大塚 則男・豊永 貞夫・本村 令斗・笹山 欣悟・永山 芳宏